

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 31

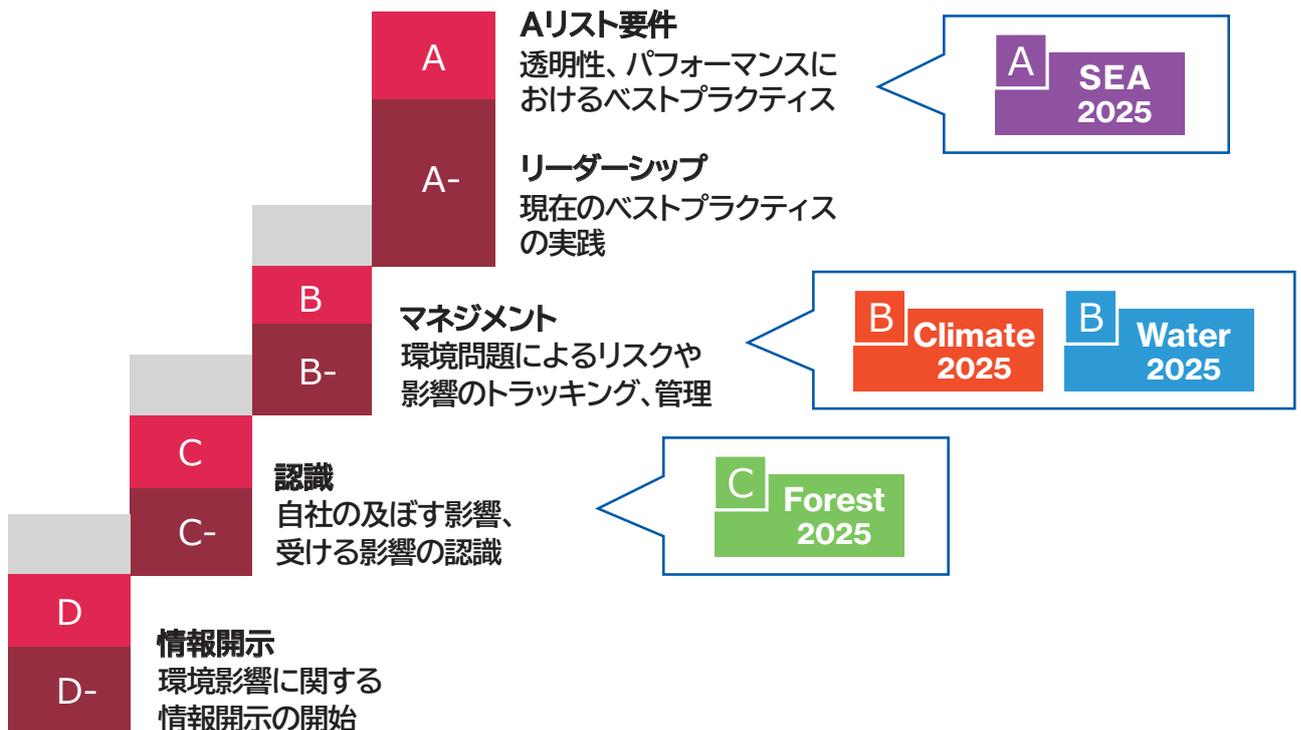
フジシールグループ
CDP2025 結果と
フジシールグループの
気候変動への取り組み

フジシールグループ(以下、「FSG」)では、気候変動・海洋プラスチック問題(生物多様性)・資源枯渇を重要課題として位置付け、製品・サービスを通じて環境に貢献し、製造時における負担低減に向けて取り組んでいます。本レポートでは、CDP*1コーポレート質問書2025の評価結果と、温室効果ガス削減取り組みの一部をご紹介します。

■ CDP 2025 主な結果



FSGは、CDPコーポレート質問書2025を通じて、当社の2024年度の気候変動、水セキュリティ、森林に関する環境取組状況を報告し、各分野におけるスコアの評価を受けました。「気候変動」と「水セキュリティ」の両分野で「B」評価を獲得し、「森林」分野では「C」評価を獲得しました。また、「サプライヤーエンゲージメント評価(SEA)」において、最高評価である「A」評価を獲得しました。



*1 CDPは、独立した環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。多くの企業、金融機関、自治体が、環境への影響を管理するためにCDPのシステムを活用しています。

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 31

フジシールグループ

CDP2025 結果と
フジシールグループの
気候変動への取り組み

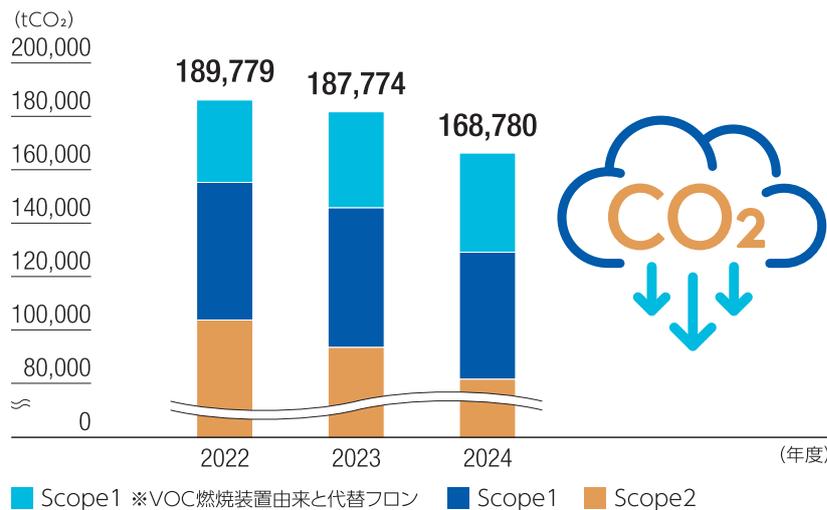
■ 温室効果ガス排出量の推移と削減取り組み

株式会社フジシールインターナショナルは、国際的イニシアチブであるSBTi*2より短期目標の認定を取得し、FSG一丸となって、温室効果ガス排出量の削減に向けた積極的な対策に取り組んでいます。

Scope 1*3 & 2*4	2030年度までに温室効果ガス排出量を2022年度基準で42%削減
Scope 3*4	2030年度までに温室効果ガス排出量を2022年度基準で25%削減

CDP2025で報告を行った2024年度、当社のScope1&2排出量は基準年である2022年度の排出量に対し、約11%以上(0,999トンCO₂)削減されました。最も大きな削減効果は、Scope1の省エネルギー対策と、再生可能エネルギー導入によるScope2排出量削減によるものです。また、Scope3排出量は1,249,892tCO₂であり、排出係数の精緻化などを行い、順調に削減しています。

温室効果ガス排出量推移



*2 国連グローバル・コンパクト、CDP、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)により共同設立され、産業革命前からの気温上昇を1.5℃未満に抑えるための科学的根拠に基づいた目標(1.5℃水準)の設定を企業に求めるイニシアチブ

*3 Scope1: 自社での燃料使用による直接排出量

*4 Scope2: 自社が購入した電気、蒸気、熱、冷却による間接排出量

*5 Scope3: スコープ1および2以外の、自社のバリューチェーンからの間接排出量

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 31

フジシールグループ

CDP2025 結果と
フジシールグループの
気候変動への取り組み

<2024年度 再生可能電力による温室効果ガス削減効果>

米州	ケンタッキー工場では、2022年度から再生可能エネルギー証明書制度 (RECs) を使用しています。 2024年度はこれにより、工場の電力の一部となる10,870MWhを再生可能エネルギー由来に転換しました。
CO ₂ 削減効果 7294tCO ₂	
欧州	欧州ではこれまでドイツ・イタリア工場にて太陽光自家発電を進めていましたが、それに加え、2024年度、ドイツ工場・イタリア工場・オランダ工場にて再生可能電力購入の購入が開始しています。 これにより、2395MWhを再生可能電力由来に転換できました。
CO ₂ 削減効果 796tCO ₂	
アセアン	2022年度以降、タイ・ベトナム工場にてPPA (Power Purchase Agreement: 電力購入契約) により太陽光発電設備が稼働しています。 これにより、2024年度は再生可能電力を2532MWh使用しました。
CO ₂ 削減効果 1351tCO ₂	
日本	2024年度、筑波、結城、名張の各工場では、オフサイトPPA、非化石証書、再生電力プランより最適な方法を活用して新たな再生可能電力の調達を開始しました。筑波工場は2023年から自家発電も実施しており、東京本社と山形工場も引き続き100%再生可能電力を使用しています。これらを合わせ、全拠点で合計6,015MWhの電力が再生可能電力に切り替えられました。
CO ₂ 削減効果 2575tCO ₂	

■ さらなる温室効果ガス排出量削減にむけて

2025年度以降も継続して、温室効果ガス排出量削減目標達成に向け、取り組んでいます。2025年度、欧州では、6つの生産拠点のうち4拠点が新たに再生可能電力に切り替えられ、2026年1月現在、トータル5拠点において電力によるCO₂排出量がゼロとなります。今後も気候変動対策の強化を行い、持続可能な社会への貢献を目指します。

FSGの気候関連開示

FSGは2021年7月に気候関連財務情報開示タスクフォースTCFD提言への賛同を表明したことを皮切りに、CDPでの開示のみならず、気候変動に向けた取組について当社Webサイトでの開示強化を進めてきました。詳細は下記リンクをご参照ください

[気候変動に関する取り組み](#)[ESG DATA BOOK 2025](#)[環境レポート](#)[CDP Corporate Questionnaire 2025](#)